

## 平成25年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	介護概論 (Introduction to Nursing Care)		授業コード	E007351
担当教員名	奥田 憲昭、姫嶋 良子、藤沢 紀美子、鶴田 登志子			
配当学年	2	開講期	後期	
必修・選択区分	経営経済学科 選択	単位数	2	
履修上の注意または履修条件				
受講心得	出席を重視します。社会福祉士試験に合格する力をつけることを目的とする。このため、予習・復習を通じて教科書を繰り返し読むこと。このため指定した教科書は必ず購入して受講すること。			
教科書	社会福祉士養成講座 14 介護概論 (中央法規発行)			
参考文献及び指定図書				
関連科目	高齢者福祉論			

授業の目的	介護ニーズの複雑化、高度化に伴い、社会福祉を基盤とした介護の展開が不可欠になっています。介護の専門的な知識や技術、理念に配慮した社会福祉の展開が必要になっていることを理解し、又それが実践できることを目的として講義を進めます。
授業の概要	

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
<b>第1週：</b> <b>介護保険制度の基本的枠組み</b> ・介護保険制度の全体像 ・介護保険制度の目的と理念 ・保険財政 ・保険者と被保険者 ・介護保険制度の最近の動向	予習:教科書をよく読んでおく 復習:教科書を繰り返し読む
<b>第2週：</b> <b>介護保険制度の仕組み</b> ・要介護認定のしくみとプロセス ・保険給付 ・介護報酬 ・地域支援事業 ・介護保険事業計画 ・サービスの質を確保するための仕組み	予習:教科書をよく読んでおく 復習:教科書を繰り返し読む
<b>第3週：</b> <b>介護保険サービスの体系</b> ・介護保険サービスにおける専門職の役割と実際 ・居宅サービス ・施設サービス ・介護予防サービス ・地域密着型サービス	予習:教科書をよく読んでおく 復習:教科書を繰り返し読む
<b>第4週：</b> <b>高齢者を支援する組織と役割</b> ・行政機関の役割 ・指定サービス事業者・国民健康保険団体連合会の役割	予習:教科書をよく読んでおく 復習:教科書を繰り返し読む
<b>第5週：</b> <b>地域包括支援センターの組織体系と役割</b> ・社会福祉協議会 ・ボランティア団体 ・非営利民間活動	予習:教科書をよく読んでおく 復習:教科書を繰り返し読む
<b>第6週：</b> <b>高齢者支援の方法と実際</b> ・高齢者支援の方法 ・介護保険法における連携と実際	予習:教科書をよく読んでおく 復習:教科書を繰り返し読む
<b>第7週：</b> <b>高齢者施設の研究</b> ・高齢者施設を調べ、レポートを提出し、発表する。	予習:レポートの作成

第8週： 中間試験		教科書の試験範囲を繰り返し読んでおく
第9週： 介護の概念や対象	・介護の概念と範囲 ・介護の理念 ・介護の対象 ・介護予防の概念	予習：教科書をよく読んでおく 復習：教科書を繰り返し読む
第10週： 介護過程	・介護過程の概要 ・介護課程の展開技法	予習：教科書をよく読んでおく 復習：教科書を繰り返し読む
第11週： 介護各論①	・自立に向けた介護 ・家事における自立支援	予習：教科書をよく読んでおく 復習：教科書を繰り返し読む
第12週： 介護各論①	身支度、移動。睡眠の介護 ・食事、口腔衛生の介護	予習：教科書をよく読んでおく 復習：教科書を繰り返し読む
第13週： 介護各論①	・入浴、清潔、排泄の介護	予習：教科書をよく読んでおく 復習：教科書を繰り返し読む
第14週： 介護各論②	・認知症ケア	予習：教科書をよく読んでおく 復習：教科書を繰り返し読む
第15週： 介護各論②	・終末期ケア ・住環境	予習：教科書をよく読んでおく 復習：教科書を繰り返し読む
第16週：期末試験 期末試験		予習：教科書をよく読んでおく 復習：教科書を繰り返し読む
授業の運営方法	(1)授業の形式	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「オムニバス方式」
	(3)アクティブ・ラーニング	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	教科書で予習をし、講義をよく聞き、復習することにより、専門職としての社会福祉士の仕事に関心をもつ。
【知識・理解】	講義で取り上げた内容をよく理解する
【技能・表現・コミュニケーション】	授業のなかで質問されたことにしっかり答える
【思考・判断・創造】	介護保険サービスの仕組み・社会福祉士の役割・介護福祉士の役割をよく理解する

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
<b>【関心・意欲・態度】</b> ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。	30点	5点		
<b>【知識・理解】</b> ※「専門能力<知識の獲得>」を含む。	30点	5点		
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b> ※「専門能力<知識の活用>」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		5点		
<b>【思考・判断・創造】</b> ※「考え抜く力」を含む。	20点	5点		
<b>(「人間力」について)</b> ※以上の観点到、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等(提出物)	
発表・その他(無形成果)	